

第3章 2021年7月25日（日）：津田沼～錦糸町 晴れ

2021年7月25日（日）晴れ、総武本線の津田沼駅から錦糸町駅までの営業キロ21.9kmに再挑戦する。この区間は、2001年3月20日（火）に既に踏破済だが、当時の駅舎写真がないため6回目のリベンジとなった。本日は、真夏のウォーキングの日差しと厳しい環境下、熱中症に配慮するため、万全な水分補給と駅舎に隣接した水施設に立ち寄り帽子下の濡れタオルを更新しながら、全ての駅舎立ち寄りに成功する。なお、高架した鉄道下が多かったため、傘は11時頃10分程度さし、後はささずに済んだ。折しも、今回のブログが2012年7月21日（土）以来、**1,000回目の節目**となった。



※幕張本郷駅、幕張本郷駅の道筋を確認、幕張本郷駅

7月22日（木）、幕張本郷駅が未踏破のため、この駅舎を撮影後、津田沼駅まで引き返し、本日の歩きとなる。確認の結果、私が想定した区間より500m位手前を左折した先に幕張本郷駅があった。京成千葉線も合流しており、大きな駅舎であった。京成幕張本郷駅は記録によると2010年6月26日（土）立ち寄ったとあった。誠に残念。



※幕張本郷駅、京成幕張本郷駅



※津田沼駅、東船橋駅への路

津田沼駅からの各駅舎立ち寄り時刻は次の通り。本日も先日の千葉から津田沼までと同様、鉄道地図を持たず、鉄道の右側を軸に、[鉄道案内人である”鉄道・電柱”](#)を頼りにウォーキングの醍醐味を楽しむ。本日のコースに関しては、残念ながら20年前の記憶は全く消滅していた。

津田沼 (10:06) ～東船橋 (10:51) ～船橋 (11:35) ～西船橋 (12:38) ～下総中山 (13:20) ～本八幡 (14:00) ～市川 (14:33) ～小岩 (15:26) ～新小岩 (16:21) ～平井 (16:58) ～亀戸 (17:31) ～錦糸町 (17:56)



※JR線下を潜る、路地歩き、遠くに東船橋駅

①鉄道の右側を淡々と歩いた先で、10時23分、急な階段を下り鉄道の右側となる。袋小路のある路地を何度も引き返しながら、やっと10時51分、東船橋駅に到着する。10時58分、道祖神社で本日の安全を祈願する。右往左往した結果、鉄道の右側をキープして船橋駅を目指す。11時8分、船橋市立船橋高校前を通過。11時21分、短い人道橋（海老川）を渡る。その先を高架した鉄道に沿って歩いた先に船橋駅（11時35分）があった。心地よいShapoと東武デパートが駅に離接してあった。この駅は、東武線の船橋～柏までの踏破の際にも立ち寄った駅舎で、微かな記憶があった。



※東船橋駅、道祖神社



※心地よい木陰、船橋高校、人道橋から総武本線



※船橋駅

②東武線に行かないよう用心して、西船橋駅を目指す。11時46分、東武線を潜る。その先で線路があり、京葉線と勘違いする。鉄道の右側を歩くが袋小路にぶつかる。数分右往左往し、300m位引き返し、地元の人に運よく対面し、目の前の鉄道が総武本線であることを確認し、鉄道下を潜り、鉄道の左側となる。淡々と鉄道脇を歩く。12時21分、道路下を潜る。その先でJR線の間東武高速鉄道が登場する。また、遠くに武蔵野線の車両が見える。西船橋駅には12時38分到着する。この駅は、2019年3月2日

(土)、第73回わいわい会(高松一高同窓の歩き会)で武蔵野線の東松戸から西船橋まで歩いた際、立ち寄った駅舎で記憶が鮮明に残っていた。12時45分、吉野家に立ち寄って、丑の日が近いのでうなぎ丼を賞味させて頂く。ささやかながら至福のひと時であった。



※西船橋駅への路



※東葉高速鉄道登場、武蔵野線登場



※西船橋駅



※吉野家で鰻!! 下総中山駅への路

③小休止をとり、一息をついた後、12時54分、下総中山駅を目指す。13時15分、下総中山駅への道路標識を見つける。その先に下総中山駅（13時20分）があった。13時30分、万歩計で56歩ある新川橋を渡る。13時31分、JR線下を潜り左側となる。13時38分、JR線下を潜り右側となる。トイレ休憩も兼ね、総武本線高架下にあるShapoに立ち寄る。店内は火照った身体を冷やしてくれた。都営新宿線も乗り入れている本八幡駅には14時40分到着。そして、淡々と歩いた先に市川駅（14時33分）があった。



※下総中山駅、本八幡駅への路



※本八幡駅への路



※本八幡駅、市川駅



※市川駅、市川橋

④千葉街道を歩く。14時48分、万歩計で722歩ある市川橋（江戸川）を渡る。東京都側には6面の野球グラウンドがあった。そのうち、2面使用していた。橋を渡ると、急に賑やかな街並みとなる。蔵前橋通りを歩く。心地よいShapoを通り、小岩駅には15時26分到着。15時38分、万歩計で215歩ある上一色中橋（中川）を渡る。15時45分、新金貨物線（新小岩～金町）を潜る。その先に高架した環七通りがあった。16時21分、新小岩駅に到着する。日差しも和らぎ、歩きやすい環境となる。



※市川橋からの光景、小岩駅に面した Shapo



※小岩駅



※上一色中橋、新小岩駅



※新小岩駅

⑤16時29分、新小岩公園前を通過。16時33分、万歩計で1130歩ある平井大橋（荒川）を渡る。この橋の間に公園への路があった。急な階段を下り、蔵前橋通りに出る。16時52分、つばめ児童遊園前を通る。平井駅には16時58分到着。



※平井大橋



※平井大橋を渡って、つばめ児童遊園



※平井駅



※平井駅界限、江東新橋



※亀戸駅への路、亀戸駅

⑥17時11分、万歩計で151歩ある江東新橋を渡る。その先、幹線道路を左折し、JR線に近づく。途中、2005年9月に踏破した東武亀戸線の電車を見かける。17時22分、JR線を潜り、鉄道の左側となる。鉄道に沿って歩いた先に亀戸駅(17時31分)があった。私の青春時代に竣工された、老朽化となりつつある、万歩計で74歩ある橋(昭和44年(1969年)3月)を渡る。”光陰矢の如し”を痛感する。花道を通り、錦糸町駅には17時56分到着。20年前とは全く風情が異なる、錦糸町駅手前からのスカイツリーは印象的であった。18時6分の三鷹行きで電車にて自宅に向かう。



※亀戸駅界限、錦糸町駅への路、老朽化が進む橋



※スカイツリーが見える、錦糸町駅すぐ



※錦糸町駅

これで通算営業キロは **1万2千295 km (歩き日数599日)** となった。同時に”日本横断歩き鉄の旅”と題する第17編（総武本線・横須賀線）PDFが執筆できる環境となり、実りある一日となった。